講義名	教養特講Ⅰ（経済情報学科へのいざない）				授業形態	
担当教員	森澤　龍也／植松　宏之／内山　勝久／亀井　大樹／関　陽／吉川 満／澤田　清／竹内　信行／寺口　敏生／仲間　瑞樹／長谷川　哲郎／三谷　哲雄／三原　裕子	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 ４時限			
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	FYE101

主題と概要

■注意■

※本シラバス内に記載している「キャンパス クロス」は，本学の学修支援システムの名称です．「キャンパス クロス」の概要や使い方などは，教務部に問合せてください．※「備考」には，「受講上のアドバイス」を記載しています．必ず確認してください．

■■■■

本科目のねらいは，皆さんが今後４年間かけて経済学部の経済学科のディプロマ・ポリシーに掲げた資質・能力を獲得するのために，自分にとって必要な学びやその道筋のヒントを得ることです．

そのためには，できるだけ早い段階で，学科の学び，開講されている科目，その担当教員，などを知ることがとても重要となります．そこで，本科目では，各学科の学びの概要を紹介するとともに，開講年度において学科専門科目を担当している教員が１回ずつ順番に，1）自己紹介，2）開講年度に担当している科目や関連科目の紹介（概要，学科やコースでの学びの位置づけ等），3）担当科目や関連科目に関わるトピックスやおすすめ科目の紹介，等を行います．なお，本科目ですべての専門科目を紹介することはできません．紹介されなかった科目は，各自でシラバスを参考に内容などを確認してください．

到達目標

受講生は，将来の夢や目標（なりたい自分）に向けた４年間の学びの道筋を考えるために必要な経済学部での幅広い学びについて「知る」ことができるようになる．さらに，自分にとって必要と思う科目，興味・関心を持った科目を「見つけ出す」ことができるようになる．

提出課題

各回の担当教員により異なります．提出方法も，授業時間内での提出，キャンパス クロスやRYUKA Portalでの提出，印刷物での後日提出など様々です．担当教員からの説明を聞いてください．

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各回教員が学生からの問い合わせに応じて適宜対応します．

評価の基準

各回の担当教員の評点（10点満点）を合計します．その合計点数を100点満点に換算したものが成績となります．各回教員の評点は，出席，授業参加度，授業に対する感想，課題レポート，小テスト，など教員ごとに異なります．なお，最終課題（10点満点）は，成績にそのまま加点します．それが，最終的な成績となります．

履修にあたっての注意・助言他

(1) 本科目の履修判断
本科目は，「全学共通科目／教養科目／教養一般・教養特講」（最低必要単位数は8単位）に含まれます．この科目区分には，本科目以外にも多くの教養科目が開講されています．「本科目の到達目標くらいのことは自分でできる」という学生は，本科目を履修する必要はありません．
ただし，本科目以外で学科専門科目の全体像を知る機会はありません．学科の学びの内容をある程度知っている場合でも，個々の専門科目の担当教員や担当科目のことを知っていると，今後の科目履修の参考になるだけでなく，２年生から始まる専門演習（通称，ゼミと呼ばれる特別演習科目）の選択にも役に立つはずです．その意味でも，履修することを強くお勧めします．

(2) 出席の重要性
原則として，毎回異なる教員が，異なる内容で講義を行います．経済学部および各学科全体の学びの内容の理解のためには，全教員の講義に出席することが重要です．もし欠席すると，各教員から出される課題を提出するのが困難となります．その結果，この科目の到達目標に届かず，D評価（本科目の単位は未修得）となる可能性が高まります．

教科書

・使用しない．				

参考図書

・なし．				

その他

必要に応じて各回の担当教員が指示します．講義で配布された資料は，他の回でも使用するかもしれません．また，大学より配布された「履修要項」や「科目一覧表」などの資料は，本講義における科目確認などで利用する機会があるかもしれません．これらの資料は，毎回，持参しておいてください．

授業計画

01　学科主任による講義／担当：森澤龍也「イントロダクション・次回以降の準備」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を調べることに加え，事前配布された講義資料をよく読み講義内容を事前学習する（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

02　（両学科合同）　担当：仲間瑞樹「私たちの生活から考える行動経済学」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

03　（両学科合同）　担当：植松宏之「都市・地域計画」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

04　（両学科合同）　担当：吉川　満「人の行動は予測できるのか？」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

05　（両学科合同）　担当：竹内信行「経済学って，どんな学問？」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

06　（両学科合同）　担当：亀井大樹「なぜ経済学において歴史を学ぶ必要があるのか？」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

07　（両学科合同）　担当：内山勝久「環境経済学/金融論へのいざない」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

08　（両学科合同）　担当：三原裕子「財政について考えよう」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

09　（両学科合同）　担当：三谷哲雄「自己紹介と担当科目紹介」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

10　（両学科合同）　担当：長谷川哲郎「公共交通とまちづくり」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

11　（両学科合同）　担当：森澤龍也「情報と経済」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

12　（経済情報学科）　担当：寺口敏生「AIに係る技術動向の紹介と社会の変化の見通し」
復習と課題提出：　講義後の課題を通じた復習のみ。AIを活用した資料作成（１時間）、ファクトチェック（１時間）、提出用レポート作成（２時間）

13　（経済情報学科）　担当：関　陽「担当科目の紹介・プログラミング体験・2進数変換体験」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

14（経済情報学科）　担当：澤田　清「パターン認識とフラクタル」
予習：　大学ホームページの教員プロフィールで担当教員の専門と担当科目を，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を調べる（２時間）
復習と課題提出：　講義を振り返り，課題を提出する（２時間）

15　各学科主任による講義／担当：森澤龍也「今後の履修に向けて」
予習：　これまでの講義内容を講義資料や講義ノートなどによってすべて振り返りながら，履修要項・科目一覧でそれぞれの科目のカリキュラム上の位置づけを，それぞれの科目のシラバスでその概要を見直す（２時

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
○	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

教員ごとに異なります．

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卒業認定・学位授与の方針（DP:ディプロマ・ポリシー）に示されている要件に対する当該授業科目の寄与のウエイトを行頭の [] 内に3段階（０・1・３）に分けて記載する．

(1) 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神をもった人材
[3] 将来の夢や目標（なりたい自分）に向けた４年間の学びの道筋を考えるために必要な経済学科での幅広い学びについて「知る」こと、および、自分にとって必要と思う科目、興味・関心を持った科目を「見つけ出す」ことによって「夢や志を持」つための第一歩を踏みだす。

(2) 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
[3] 将来の夢や目標（なりたい自分）に向けた４年間の学びの道筋を考えるために必要な経済学科での幅広い学びについて「知る」こと、および、自分にとって必要と思う科目、興味・関心を持った科目を「見つけ出す」ことによって「情報収集」「課題発見」に取り組むことができる。

(3) 創造力（新しい視点と豊かな発想)を持った人材
[1] 将来の夢や目標（なりたい自分）に向けた４年間の学びの道筋を考えるために必要な経済学科での幅広い学びについて「知る」こと、および、自分にとって必要と思う科目、興味・関心を持った科目を「見つけ出す」ことによって「新しい視点」を得ることができる。

(4) 自主，自立の精神を持った人材
[3] 将来の夢や目標（なりたい自分）に向けた４年間の学びの道筋を考えるために必要な経済学科での幅広い学びについて「知る」こと、および、自分にとって必要と思う科目、興味・関心を持った科目を「見つけ出す」ことによって「自ら目標を設定し、他に依存することなくそれを成し遂げる」第一歩を踏みだす。

(5) 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
[1] 将来の夢や目標（なりたい自分）に向けた４年間の学びの道筋を考えるために必要な経済学科での幅広い学びについて「知る」こと、および、自分にとって必要と思う科目、興味・関心を持った科目を「見つけ出す」ことによって「自ら目標を設定し、他に依存することなくそれを成し遂げる」第一歩を踏みだす。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教員ごとに異なります．

実務経験の有無及び活用

教員ごとに異なります．

備考

■受講上のアドバイス■

(1) 講義に関する情報はRYUKA PortalのMy時間割やキャンパス クロス(RYUKA Portalからもアクセス可能)で確認すること
受講生の皆さんへの連絡（講義に関する案内，講義資料の配布，レポート課題の掲示など）は，授業中だけではなく，適宜，RYUKA Portalやキャンパス クロスでも行います．講義資料の配布ページには，掲載期間があります．掲載期限を過ぎたら，閲覧やファイルのダウンロードができなくなります．連絡を受けたら速やかにダウンロードし，自分のPCやスマホなどの端末に必ず保存してください．レポート課題には，提出期限があります．また，レポートを提出した後は，その提出状況を必ず確認してください．

(2) 講義資料